

補正予算2事業を否決!

今議会におきまして、極めて異例ではありませんが、2つの委員会で補正予算案が否決されました。

まず、総務委員会に付託された総合保健福祉センター建設費2億2000万円を計上した補正予算案を否決。続いて、産業建設委員会に付託された交流拠点施設「町家」外部補修費860万円を計上した補正予算案が否決されました。

議会最終日において、補正予算2億2860万円減額の修正案が議員から提出され、賛成多数で可決し、2つの事業予算が削除されました。ただ、今回の背景には市民の声、議員の提案に耳を貸さなかった理事者側に問題はなかったのでしょうか。

補正予算を否決した議員においても、総合保健福祉センターの位置付け

を重要と考えています。

また「町家」の存在も伊予市発展の大切な施設と考えています。

しかしながら、今回の予算計上における理事者側の考え方や姿勢に対し、ノーを突き付けた形となりました。

予算の作成にあつては、1円の予算においても無駄なものがあつてはなりません。それについては、理事者が一番理解されているはずで

そのような中、今回の予算計上は、果たして市民の理解が得られるものであつたのでしょうか。

議会にも今回の事態に至った経緯を丁寧に市民の皆様に対し、説明する責任があります。

今後、研究・検討し、市民の負託にこたえるべく努力していきたいと考えております。

庁舎等建設特別委員会

総合保健福祉センター建設

市民の皆様には、前回8月1日に発行した6月議会定例会の議会だより15ページに当委員会の考えを掲載いたしました。

改めて9月議会初日に当委員会から委員長報告がありましたので、その要旨を掲載いたします。

施設3階への児童センターの整備

現在、郡中地区には、児童館「あすなろ」が設置されており、今後も運営していくとのことである。今後の利用状況によっては、二重投資ということにもなりかねないので、再考を求め

社会福祉協議会の集約

社会福祉協議会の総務部門と事業（介護事業部門）の集約をすべきとの意見書を提出している。

しかし、今回の施設には、ボランティアセンターとして総務部門だけを配置することである。

この件に関しては、今後の社会福祉協議会としての機能性を発揮する上で、市の単独費用を投じてでも、集約すべきと考

液状化対策を

今回の施設は杭基礎での対応を計画している。

しかしながら、建物以外の場所（駐車場や緑地帯等）については、地震の規模等により液状化の可能性があるかもしれないと考える。また地盤下のこともあり、施工に当たっては細心の注意を払っていただくことを要望する。

市民へ情報公開を

建築設計に当たっては「3・11」以降の全国津々浦々の自治体での建設事例も参考に、自然災害等に耐えうる建築物としての設計を要求する。

とにもかくにも、伊予市民のための建物であるから、建設に当たつての経緯や経過、予算等の情報を全市民に対して提供するよう強く求める。

誠意ある理事者の対応を

最後に総括として、当委員会が要請していた児童館の集約及び社会福祉協議会の集約について、理事者の対応には、誠意が感じられない。

議員の総意をどのように考えているのか説明を求めるとともに、福祉環境の向上も大切であるが、伊予市全体から見た施設運営上のコストをも考慮し、これからの伊予市という自治体の明確な将来展望を示していただくことを強く求める。

庁舎等建設特別委員会としましては、今後市民の皆様に対しまして、丁寧に説明を果たしていく所存であります。